

全国道の駅連絡会事務局 イベント運営等業務

公募型プロポーザル

実 施 要 領

令和8年3月

一般社団法人全国道の駅連絡会

本実施要領は、一般社団法人全国道の駅連絡会（以下「当会」という）が実施する各種イベント事業実施の支援を行う民間業者を、公募型プロポーザル方式にて選定するために必要な事項を定めるものである。

1. 実施目的

当会は、道の駅による地方創生の更なる加速に向けて立ち上げた法人であり、現在国が進める「道の駅第3ステージ」の推進のため、「全国道の駅シンポジウム」「全国道の駅駅長サミット」等の各種イベントを開催している。

本業務はこれらイベントの開催支援をすることを目的としている。

2. 業務内容

本業務では、当会事務局の活動支援として、以下の取り組みを実施することとする。

(1) イベントの運営

連絡会が主催する各種イベントにおける、会場手配、当日の進行管理、オンライン配信の手配及び運用等の運営全般にわたる支援。

(2) イベント会場等の設営

(1) のイベント及び当会通常総会の会場手配及び会場設営。

(3) 当会事務局（イベント部門）

当会事務局機能のうち、(1) のイベントを企画運営する部門の運営支援。

(4) 打合せ協議

(1) から (3) を実施するために必要な業務打合せ。

3. 契約期間

契約締結日から令和9年3月31日まで

4. 応募者の要件

(1) 基本要件

本業務を実施する者は、道の駅に関する知識・知見を有するとともに、イベント運営に関する豊富な実施経験を有し、かつ当該イベントに関する連絡会の事務局機能をサポートできる体制を有する民間業者とする。

(2) 応募者の構成等

応募者は、民間事業者、独立行政法人、国立大学法人、認可法人、民間団体（公益法人を含む）とする。

また、複数者による共同提案も可とする。その際は、共同して提案を行う複数者（以下

「グループ」という。)の中から本公募に係る代表者を選定すること。その者は、グループを代表して、本公募に係る連絡調整等を連絡会との間で行うものとする。なお、グループを構成する全ての者が、本条に記載する全ての要件に適合している必要がある。

(3) 実績要件

- ア 応募者は、過去5年間(令和3年度から令和7年度末)までに完了した、道の駅や道路行政に関するイベントの運営、会場設営等の業務について、1件以上の実績を有していること。
- イ 応募参加者は、参画者の中に上記アの実績要件を満たす者が含まれていることを証明する書類として、事業実績に関する調書(様式第2号)を提案書の受付時に提出すること。

(4) 応募者の欠格事由

次の欠格事由のいずれかに抵触する場合には、応募することができない。

- ア 契約を締結する能力を有しない者
- イ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- ウ 暴力団による不当な行為の防止に関する法律(平成3年法律第77号)第32条第1項各号に掲げる者
- エ 国又は地方公共団体(以下「国等」という)から指名停止の措置を受けている者

(5) その他

本業務の参考業務規模は1200万円程度(税込)を想定している。

5. 参加手続き

(1) 参加意思表明書及び企画提案書等の様式の入手

参加に必要な様式は、当会ホームページからのダウンロード、もしくは連絡会への来訪にて入手することができる。

(2) 参加意思表明書の提出

応募参加を希望する者は、参加意思表明書を提出すること。

なお、参加意思表明書の提出期日までに参加意思表明書の提出がない者の応募参加は認められない。

- ア 提出書類：参加意思表明書(様式第1号)、団体・会社概要書(様式第2号)
- イ 提出期限：令和8年3月30日(月)17時00分まで(必着)
- ウ 提出方法：電子メール又は持参又は郵送
- エ 提出先：一般社団法人全国道の駅連絡会 事務局 櫻庭
住所 〒135-0042 東京都江東区木場2-15-12 MAビル3階
電話 03-5621-3188(直通)
FAX 03-5621-3153
電子メール info@michi-no-eki.jp

(3) 質問の受付及び回答

質問は、文書により行うものとし、持参、郵送、電送、又は電子メールのいずれの方法でも可能とする（電送又は電子メールの場合には着信を確認すること）

なお、文書には回答を受ける担当窓口の部署、氏名、電話及びFAX番号、電子メールアドレスを併記するものとする。

質問に対する回答は、全ての参加者に対して電子メールにより行う。

ア 提出書類：公募に関する質問書（様式第4号）

イ 提出期間：令和8年3月19日（木）より

令和8年3月27日（金）17時00分まで（必着）

ウ 提出場所：7.(2)と同様

エ 質問に対する回答は、質問を受理した日から令和8年3月30日（月）12時まで（休日は含まない）に電送又は電子メールにより行う。

(4) 企画提案書の提出

参加意思表明書を提出した者は、企画提案書を提出すること。なお、参加意思表明書の提出がない者の企画提案書は認めない。

企画提案書には、以下の内容について記載すること。

①「道の駅」の現状や道の駅が今後担うべき役割等、道の駅に対する認識について。

②当会が携わるイベントの運営実施にあたっての体制等について。

③設営にあたっての適切な外部調達の方法について。

④当会事務局（イベント部門）としての支援方法について。

※上記内容については、体制図や実施フロー図、工程計画（スケジュール）を作成する等、わかりやすく、できるだけ具体的に記載すること。

ア 提出書類：企画提案書（様式任意で原則 A4 判で10ページ以内）

イ 提出方法：持参又は郵送（書留郵便に限る）の場合は3部。電送又は電子メールの場合は1部。（電送又は電子メールの場合には着信を確認すること）

なお、電子メールで提出する場合は以下によること。

これ以外での提出は無効とする。

①データは、PDF形式にすること。

②ファイル総量は、極力10メガバイト以内とすること。

③印刷時に規定の枚数となるように設定しておくこと。

ウ 提出期限：令和8年3月30日（月）17時00分まで（必着）

期限までに到着しなかった場合、いかなる理由をもっても受理しない。

エ 提出場所：一般社団法人全国道の駅連絡会 事務局 櫻庭

住所 〒135-0042 東京都江東区木場2-15-12 MAビル3階

電話 03-5621-3188（直通）

FAX 03-5621-3153

電子メール info@michi-no-eki.jp

6. 提案審査

応募者から提出された提案書一式（以下「提案書等」。）の審査は、（一社）全国道の駅連絡会事務局にて実施する。

- ア 審査は、応募者の要件ならびに企画提案書の内容について審査を実施する。
- イ 実績要件、基本要件を満たしていない応募者は失格とする。

7. 審査結果の公表

審査の結果、提案書が特定された者に対しては、書面により通知する。

8. 留意事項

- （1）応募に必要な費用は、応募者の負担とする。
- （2）提出後の提案書等の差し替え及び再提出は認めない。
- （3）提出した提案書等の返却は行わない。
- （4）提案書等に虚偽の記載のある場合は、応募を無効にするとともに、虚偽の記載をした者について、所要の措置を講じる場合がある。
- （5）応募に関して使用する言語は日本語、通貨は日本円、使用する単位は日本の標準時及び計量法によるものとする。
- （6）提案書等の著作権は、それぞれの応募者に帰属するが、公表、その他連絡会が必要と認めるときには、連絡会はこれを無償で使用できることとする。
- （7）応募者は、複数の参加・提案を行うことはできない。
- （8）連絡会が公表・配布する資料等は、応募に係る検討以外の目的での使用を禁じる。
- （9）道の駅活性化推進事務局（仮称）となったものは、連絡会の実施予定事業に関する公募への参加企業になることはできない。

以上

表 企画提案書の評価方法

項番	大項目	項目	評価の視点	評価点
1	基本要件	1 欠落事項への該当	<p>契約を締結する能力を有しない者</p> <p>破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者</p> <p>暴力団による不当な行為の防止に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者</p> <p>国又は地方公共団体から指名停止の措置を受けている者</p>	<p>該当するものが一つでもあれば選定しない。</p>
		2 同種実績	<p>道の駅や道路行政に関する全国規模のイベント運営、会場設営等の業務実績について記載されているか。</p>	
2	評価要件	1 道の駅に対する認識	<p>道の駅の①現状、②道の駅が担うべき役割、③今後の道の駅のあり方等について、認識が間違っていないか、考え方が記載されているか。</p>	5
		2 イベント運営実施にあたっての体制等	<p>令和8年10月3日、4日に開催される「全国道の駅シンポジウム」の及び運営体制について、①実施担当者、②体制、③役割分担が、<u>明確に記載されているか。</u></p>	10
			<p>令和8年5月26日に開催される「全国道の駅駅長サミット」の運営支援体制について、①実施担当者、②体制、③役割分担が、<u>明確に記載されているか。</u></p>	10
		3 設営にあたっての適切な外部調達方法	<p>各種イベントの会場設営に係る機材・設備・要員等の調達に係る<u>透明性及び価格適正性</u>の確保について、<u>具体的に提示されているか。</u></p>	5
		4 当会事務局（イベント部門）としての支援方法について	<p>連絡会が関係機関と組織する「シンポジウム実行委員会」事務局に参画するうえで、その①考え方、②運営手法、③関係機関との交渉・調整方法が提示され、<u>優れた提案内容となっているか。</u></p>	10
<p>「全国道の駅駅長サミット」の運営事務局として、その①考え方、②運営手法、③関係機関との交渉・調整方法が提示され、<u>優れた提案内容となっているか。</u></p>	10			
合計				50

※評価要件について、評価の視点を満足する場合は評価点、全く満たさない場合は0とし、欠ける場合は評価点未滿を付ける。